

第74号 【2012年9月1日 土曜日】



Walking

『伊豆歩倶楽部』会報

伊豆歩の歌 詠み人知らず

歩歩歩（ふふふ）の歩（ふ）
緩歩で観歩
歩歩歩（ほほほ）の歩（ほ）
歩歩笑美（ほほえみ）
伊豆歩は 歓歩で完歩

平成24年度 伊豆歩倶楽部会員募集中！！

<平成24年4月1日~平成25年3月31日>

【会費】 継続会員 2,000円/年 家族会員 1,000円/年
新規会員 3,000円（入会金 1,000円 年会費 2,000円/年）
日本ウォーキング協会 正会員 10,000円/年 維持会員 2,000円/年
日本ウォーキング協会より情報が届きます。全国のウォーキング情報が満載！！

【納入方法】 郵便振替用紙にて『通帳番号10150-記号57680821 伊豆歩倶楽部』宛に納入して下さい。
例会等へ現金をご持参の方は、封筒にお名前・入金額を記入の上、伊豆歩倶楽部の受付へお渡しください。

【問い合わせ】 伊豆歩倶楽部事務局（渡辺）TEL・FAX：0558-62-0454

第119回 伊豆歩倶楽部 9月例会

「万葉の小径と伊東八景・松川湖ウォーキング」 15 Km

・元気に歩こう 1800ウォーキング認定大会

今回のウォーキングの見所は、奥野ダムや松川湖周遊です。ダムの形成や松川湖に浮かぶ不思議な浮島など興味いっぱいのコースです。（歩こう自然の中へ）

【日程】 2012年9月23日（日）

【集合場所】 伊豆急・南伊東駅前

【集合時間】 9時40分（熱海駅発 9：06・伊豆急下田駅発 8：34）各自で時間は確認願います。

【出発】 10時

【ゴール時間】 15時30分（予定）

【解散場所】 伊豆急・南伊東駅前

【参加申込】 当日現地に集合。申込は不要です。

【コース】 南伊東駅（トイレ）10:00 エイデン 万葉の小径
松川湖・奥野ダム（トイレ）11:30 昼食 奥野公園（トイレ）13:20
ハンディホームセンター 林泉寺（トイレ）14:00
南伊東駅（トイレ）15:30

【問い合わせ】 伊豆歩倶楽部事務局（渡辺）TEL・FAX：0558-62-0454

第120回 伊豆歩倶楽部 10月例会

「富士山麓ウォーキング」 1日目・18 Km / 2日目・18 Km

待望の富士山周辺ウォーキングが実現しました。霊峰富士を仰ぎながら、やさしい秋の空気を堪能しましょう。宿泊は人気の田貫湖畔にある「休暇村・富士」です。

<しっかりと歩いて楽しい温泉・おいしい空気と美味しい料理>

【日程】 2012年10月27日（土）・28日（日） 1泊

【会費】 （約）会員19,000円 一般19,500円（予約は会員を優先します）

【募集人員】 40人（定員になりしだい締切りとします）

【参加申込】 別紙にて募集中（9月10日まで）

【コース】 27日（土） 湯の花観光交流館（5：30） 伊豆急下田駅（5：50）
伊東マリンタウン（7：45） 大仁道の駅（8：15） 富士宮浅間大社（9：50）
富士宮浅間大社（トイレ）（10：10） 西山本門寺（昼食）
下柚野（トイレ） 下之坊（トイレ） 宿舎（15：30）

28日(日) 宿舎(トイレ)(9:00) 田貫湖 白糸の滝・昼食(トイレ)
狩宿の下馬ザクラ 千居遺蹟 大石寺(トイレ)
下之坊(トイレ)(15:00) 新東名富士インター(15:30)
(16:00)新東名沼津SA[ショッピング・夕食](16:40) 大仁道の駅(17:40)
伊東マリンタウン(18:10) 伊東駅(18:20) 伊豆急下田駅(20:00)
湯の花観光交流館(20:30)

【問合わせ】 伊豆歩俱樂部事務局(渡辺) TEL・FAX:0558-62-0454

静岡県ウオーキング協会 第8回合同ウオーキング大会 開催計画

1. 目的:「歩く」という、誰でもどこでも取り組める基本的な運動をとおして、環境への配慮、地域の活性化健康増進、国土の資源再発見、食の見直しなど、世代を超えた地域社会の活性化を伴った、明るい健全な社会づくりのウオーキングが県民に浸透するよう努めるとともに、県ウオーキング協会の加盟団体の会員相互の親睦を図ることを目的とする。
2. 大会名:湯の街「熱海」の浪漫薫る名所を訪ねて
3. 主催:静岡県ウオーキング協会 静岡県マーチングリーグ
4. 後援:日本ウオーキング協会 朝日新聞社静岡総局
5. 認定大会:日本市民スポーツ連盟 静岡県マーチングリーグ
ウオーク日本1800in熱海
6. 開催日:平成24年11月23日(金曜日・祝日) 雨天決行
7. 集合場所:JR熱海駅 午前9時10分
出発式会場:お宮の松広場(JR熱海駅から徒歩15分)
出発式時間:午前9時45分
出発時間:午前10時10分
8. 参加費:静岡県ウオーキング協会加盟団体会員は無料
一般参加者は500円(傷害保険・地図・名札代など含む。参加費は当日受付に納入する。)
中学生以下は無料。
9. 参加申込:事前申込み不要、一般参加者は当日集合場所で受付時間に申込をすませる。
10. コース:Aコース(18Km) Bコース(15Km) 但し、当日の天候・歩行ペース等により変更する場合があります。
・お宮の松広場(WC) 伊豆山神社(WC) 走り湯 親水公園(昼食・WC)
起雲閣 熱海梅園(WC) 丹那トンネル記念碑
来宮神社(Bコースゴール・閉会式) 豆相人車鉄道駅跡
JR熱海駅(Aコースゴール)
11. ゴール:Aコース 熱海駅 15時30分頃の予定
Bコース 来宮神社 15時頃の予定(伊東線来宮駅まで5分ほど)
12. 閉会式:来宮神社(予定)
13. その他:熱海駅から出発式会場迄の案内は、伊豆歩俱樂部が行う。
ゴール後、合同懇親会の開催を予定しています。各加盟団体で参加人数を伊豆歩俱樂部事務局までご連絡下さい。

【問合わせ】 伊豆歩俱樂部事務局(渡辺) TEL・FAX:0558-62-0454

例会に参加される際は、必ず名札を見える所に付けて下さい。また、例会以外のウオーキングの会に参加される時にも、名札を付けて参加していただくと、初めての方とのコミュニケーションもスムーズに!! 『名札を付けてレッツウオーク! ウオーキングの輪を広げましょう』

例会報告

第117回 伊豆歩俱樂部 7月例会報告

・尾瀬沼から尾瀬ヶ原縦走ウォーキング

2012年7月6日(金)・7日(土)・8日(日) 天気/雨時々晴れ

参加者: 30名(会員: 27名/一般: 3名)

1・2日目 車中泊で早朝 榎畑峠に到着。美味しい手打ちそばを食べる。山の駅・沼山峠から小雨の中をスタート。

尾瀬沼長蔵小屋で昼食。その後雨が強く、ウォーキングを中止とする。午後は各山小屋で懇親会。

3日目 6時30分霧雨の中、長蔵小屋の前で出発式。大窪さんの迫力ある檄に他団体のウォーカーからも拍手。沼尻から白川峠を越えて行く。見晴や竜宮の木道を歩くときには青空が顔をのぞかせる。山の鼻から最後の登り坂を鳩峠まで一歩一歩踏みしめて登りゴールとなる。思い出に残る尾瀬ウォークでした。

ありがとう!尾瀬

伊豆歩俱樂部会員 902 瀧下 直彦

如何に憧れの尾瀬であっても、ウォーカー歴3か月の私にとって、2日間で20キロを超す今回はとても無理とと思っていましたが、みんなと一緒に歩けば歩けるから行こうという声に励まされ参加しました。全くその通りで、最後、鳩峠に着いて、大丈夫かなと気にしてくれていた会長さんや堀崎さんと完歩できてよかったですねという握手をかわしたとき、参加してよかったと素直に思いました。感謝です。

肝心の尾瀬の印象ですが、見晴から山の鼻まで、約6キロ続く広大な湿原に圧倒され、木道から間丘に見える花の種類之多さ、美しさにまず驚かされました。人が多くて写真を撮るどころではないと言われていましたが、咲き残っていたミズバショウをはじめ、ニッコウキスゲ、ハナショウブ、ゴゼンタチバナ、特別天然記念物サンショウウオ、湧水などを確認できたことはなによりでした。本当は、同行の花博士に何種類も教えてもらったのですが、覚えきれずそばから忘れてしまいました。それと今回の尾瀬は、山特有の霧、雨、雷、梅雨の晴れ間などあらゆる気象条件を経験できてよかったこと、そして、行き交う人とりわけ山ガールの潑刺とした表情と明るい挨拶に会え、私もかくありたいと強く思いました。

また、帰りのバスの中で、皆さんが、かに尾瀬が好きかの思いが出たのが、女性会員による「夏の思い出」の合唱で、また行きたいと思わせてくれた瞬間でした。

出発前の感動の“檄”や小屋での出来事など書きたいことは沢山ありますが、日の浅い私が皆さんと話かできたことが一番でしたし、怪我をされた方もいましたが、全員が帰りのバスに乗れたことは幸いです。最後に、全てに行き届いた準備をされた事務局に感謝します。ありがとうございました。

想いはせ 夏の思い出 唄嬉し

ウォーキングと挨拶

伊豆歩俱樂部会員 609 鷹木 亮一

ウォーキングを始めて8年、伊豆半島エリアから北は北海道、西は四国までツーデーマーチに参加しているが、そこで得る物は人との繋がり、自然の美しさ雄大さそして、癒される環境を与えてくれる。

行く先々で挨拶をきっかけに親しくなり、その場所だけの友達となったり長くお付き合いするようになったり、色々な人との出会いがウォーキングから生まれます。

いつも参加している伊豆歩俱樂部のツーデーマーチ、下田水仙ツーデーから始まって松崎なまこ壁まで参加している人たちで顔は見慣れているのだが話した事が無い、でも気に掛かるなど思っている人が他県のツーデーで一緒の時があります。相手方も私達の顔は覚えていたそうです。

「こんにちは 伊豆ではよくお会いしますね、ここ出会うとは・・・」こんな会話が自然と出来る。これがツーデーの素敵な出会いの場なのですね。次にまた違うツーデーで遭遇「また会いましたね、だんだんお互いに打ち解けて親しくなっていきます。ツーデーマーチは人との繋がりを作ってくれる。

先日、新潟セブンハーバーに参加した時のお話です。伊豆歩俱樂部からは、先崎さん、田村さん、徳田さん、そして私たち2名が参加しました。伊豆歩情もここまで風にはくれませんでした。初日から雨です。会場は合羽の行列それでも参加者は元気に明るい顔、私達は20kmの参加で少し時間があつたので誰か知り合いが来ていないかと会場をキョロキョロ探していたら、居ました以前伊豆歩の会員だった女性が一人来ていました。踊り子ツーデーで一緒の方で帰りに車で送ってあげた方でした。

「こんにちは」と声をかけたら始めは分からなかったようでキョトンとしていましたが、男前の私の顔を忘れるわけはありません。

すぐに思 出してくれました。

「あの時は車で送ってくれてありがとう」「ここで出会うとはびっくりです」こんな会話が飛び出して雨でも楽しいウォーキングの始まりです。挨拶は人の心を結び付けます。人との繋がり挨拶から。

「こんにちは」「おはようございます」「お疲れ様」「ご苦労様」顔が会ったら挨拶をしましょう。

新潟ソーデーマーは第3回でスタッフの方たちもまだ慣れていないようでした。コース案内や会場進行に多少の落ち度はありましたがたくさんの参加者と、コース内容が雨模様の中楽しく完歩出来たのですが、最後の最後に私は怒ってしまいました。

その日は、ゴール受付で係員が「何か問題がありませんでしたか」と問いかけられたので一箇所コース案内版が違って参加者が困っていたと詳しく説明してもその係員他のゴールして来た人の手続きをして聞こうとしなかった!

そこで私は切れた!! \(\ o) / !

「説明しているのに人の話を聞かないのか」(怒)「全国から参加した人達が楽しく歩けるように説明しているのに聞かぬのか」と私は怒りました。

人の話をまともに聞かない、相手を選んで話をする、挨拶をする。このような人では責任ある立場の仕事は不適当だと思ってしまいました。誰とでも笑顔で挨拶しましょう。

ウォーキングから得た教訓は人の心を豊かに出来ると信じています。

事務局便り

新会員紹介

・No.910	鈴木 静代	伊東市	・No.912	鈴木 しげ子	伊東市
・No.913	長濱 久枝	伊東市	・No.914	片原 誠	伊東市
・No.915	片原 節子	伊東市			

みんなで楽しく歩きましょう～

訃報

田中康彦さん

(伊豆歩俱樂部名誉会員。元日本ウォーキング協会会長、元朝日新聞東京本社運動部長。)

6月30日、食道がんで死去、82歳。ご冥福をお祈り致します。

『南伊豆古道 現況調査報告書』 から抜粋

蛇石から大峠を越えての調査記

蛇石に見送られるように、蛇石橋を出発。すぐに、だらだらとした登り、最初の難所である。今は、バスが運行しているが、昔は蛇石までであった。オレンジタウンバス停から右折し、大池田に向う。静かな山道、民家、キャンプ場が点在し、会ったのは車両1台。

大池田の入口を右折し約5分、倒木が道を塞いでいたが、どうにか到達。この大池田で昔、稲作をしていたという面影は全く無く、ススキと小さな雑木が、大池田を被っていた。貯水槽跡と思われる後が残され、人の出入りの様子は全くない。当時は、岩科側から苗を運び植え、刈入れ後、足踏み脱穀機で籾を取り、背負って各地区の精米所で精米にしたという。

道らしきを進むと、一等三角点の暗沢山(520.3m)。NTT、県の防災無線の鉄塔、正面には頂上に少し雪化粧をしたすばらしい富士山が見える。

暗沢山を下って来ると、岩科へと下る分岐点に石仏が一体、花が供えられている。少し離れた大峠で富士山を眺め、昼食。富士山に元気を貰い、先程の石仏の脇を左折し、岩科へ下る。猪が餌を求めて掘り起こした跡が、数多くある。

約1km過ぎの所に、右に石仏があり、下からは水が湧き出ている。大峠から約1.5km手前の左に山口へ下りる細い道がある。少し下ると峠の分岐、右手に「長寿会玄菜庵と民宿」一軒あり。

大峠から約2km下がった地点に左折する手前の高所、山の神を祀る祠があり、指原地区の区長が年1回(10月)、御酒と食べ物をお供えすることであった。大きな石碑、右には道標、道標には、右、子浦、蛇石と読み取れる。その後、ハくら屋の石物を発見するも、いつごろの物かは確認できなかった。

この古道には石置が数ヶ所あり、箱根の旧東海道を思わせる。左には、現在も使用されていると思われる炭焼き小屋。1799年ごろから、岩科、中川地区では木炭の生産が盛んに行われていたとのこと。

どうにか岩科の出口に出ると、左には祠があり2体の石仏、地元の人がイボ地蔵と呼び、イボの数だけお団子を作って奉納すると御利益があるといひ、近所の方が花を供えている。

岩科川を左折し川沿いに進むと、田の祠があり、「田の神」と思ひ、地主さんに聞いたところ、江戸時代の大雨水で流れて来たのを先祖が

見つけて、今の所に置いたもので持こわれはなしとのことでした。しかし、年4回御参りをしているとのことでした。

左手に、山口地区の民家があり、その中に白い色の目立った鳥居を発見。「国柱(くにはしらみこと)神社」で、町指定の天然記念物で、他にクスノ木、大イチョウなどがある。

倉見山、その奥に扇山が従え、右手には牛原山。県自動車学校前を通り、新川橋から長八記念館、伊那下神社、浄泉寺を右手に見て、那賀川に架かる「宮の前橋」で本調査を終了した。

(大窪 正幸)

予告!!

この蛇石、大峠、松崎のコースを、12月例会でウオークします。

例会日 12月16日(日) 貸切バス利用・忘年会実施

[好評販売中!!]

『南伊豆古道 現況調査報告書』 一冊2,000円(郵送料290円) 振込み手数料は購入者負担

注文先事務局 FAXにて(住所・氏名・電話番号・注文部数)を記入して注文

〒415-0303 賀茂郡南伊豆町下賀茂201-4 渡辺芳男宛て

電話・FAX 0558-62-0454

月例会でも販売しますので、お声をかけてください。

さすらい人京さん(36)

伊豆歩俱樂部会員 402 大窪 正幸

今日は、久しぶりに浅草界隈をさすらいましょう。雷門からスタートします。同門は、1865年に焼失してから、昭和35年松下幸之助氏の奇進で再建されるまで95年閑門の門だった様です。門にくれば、いつも見慣れた仲見世、土産売店で一杯、観光客も多く人気のスポットです。創建から約1400年の浅草寺で、お参り。

少し行くと伝馬院ですが、公開されていませんので通過します。話によれば、名園とのこと。蛇ヶ池(旧跡)、10分ほどで風光明媚な待乳山聖天(まっちゃやましようでん)、眺望の良さから文人、墨客の吟遊の地として知られ、近くで生まれた作家、池波正太郎の生誕の碑が建てられています。

20分ほどで見返り柳に大門跡近くに有名なてんぷら伊勢屋、桜鍋中江、さらに行くと遊女の投入み寺とされている浄閑寺、国際通りのビューホテル近くに航空安全を祈る珍しい飛び不動、西の市の時は大賑わいの鷲神社、吉原神社、浅草神社など神社が多くあります。

浅草に戻ると、5月の三社祭、7月のほおづき市が開催される浅草寺。六区ブロードウェイ周辺には、牛鍋の老舗「米久」「花やしき」ゆかりの芸人の看板、通称「煮込み通り」と一日中遊びとグルメで大満足。目を外に向ければ、神谷バー、東京スカイツリー、朝日ビールモニュメント、駒形どぜうなど、皆さんも一度、浅草へ行ってみませんか。

「京さん」が大好きな浅草演芸場を忘れてはなりません。桂歌丸師匠のサイン色紙の「笑いの人生」、これは「京さん」のお気に入りです。これからも笑いを失なわぬ様、ウォーキングを続けたいと思っています。

一句

夏芝居 さすらい人の 幕を引く

今回をもちまして、3年36回、投稿の「京さん」を終了させて頂きます。長期にわたり読んで頂き感謝申し上げます。

【 伊豆歩俳壇 】

(7月)

七夕に 尾瀬の風抱く 山ガール

堀崎 龍夫

雨もよし 沼は元気だ 初夏の尾瀬

堀崎 龍夫

<p>列島の 大きな一つ 大鳥なり</p> <p>大窪 正幸</p>	<p>早春の 富士山器量も 日本一</p> <p>大窪 正幸</p>	<p>冷めたき人 入りたまえ 独鈷の湯</p> <p>大窪 正幸</p>
<p>念仏に お吉びつくり 宝福寺</p> <p>大窪 正幸</p>	<p>寝姿山よ 起きてくれ 仕事だよ</p> <p>大窪 正幸</p>	<p>寝むたくて 横になつたの 寝姿山</p> <p>大窪 正幸</p>
<p>良く見れば 河童がいそう 河童橋</p> <p>大窪 正幸</p>	<p>ライダーの 面々集う 三聖苑</p> <p>大窪 正幸</p>	<p>楽々と 登り下りの 剣ヶ峰</p> <p>大窪 正幸</p>

ウォーキングの感想・いずほ歌留多・伊豆歩非壇投稿先: FAX 0558-62-0454 伊豆歩具楽部事務局次長・瀧辺芳男 宛て

・ホームページアドレス <http://www.izuhorclub.com>

・メールアドレス info@izuhorclub.com

・投稿記事その他ご意見・ご感想をお寄せ下さい。「伊豆歩非壇」・「いずほ歌留多」・「伊豆歩壇歌」にも一句・・・皆様のご参加をお待ちしています。

会報への投稿は 毎月20日までにお願 致します。それ以降に届いた原稿は次号にてご案内させていただきます。

・伊豆歩具楽部部 TEL&FAX 0558-62-0381

〒415-0153 静岡県賀茂郡南伊豆町手石747 杉本育男

【発行 伊豆歩具楽部事務局】

下田市吉佐美 ペンション ゲストハウス アーヴァン

吉佐美大浜駐車場目の前の好立地 『海洋浴』で心も体もリフレッシュ!!
サーフィン・ボディボードなど海を楽しみたい方や、ウォーキングライフを応援します
カップル・家族・グループ旅行にご利用下さい。お気軽にお問合わせください。

静岡県下田市吉佐美2620 0558-23-2635

<http://www.e-urvan.com> info@e-urvan.com



風光明るな吉佐美大浜☆